

*IPCATL Version 1.0*

リファレンスマニュアル

はじめに .....	3
<b>IPCATL</b> コンポーネントとは.....	3
<b>IPCATL</b> コンポーネントご使用上の注意 .....	3
改定履歴 .....	4
簡単な使い方 .....	5
使用例 .....	5
プロパティ一覧 .....	6
<b>RecvKey</b> プロパティ.....	6
<b>Size</b> プロパティ .....	7
<b>Count</b> プロパティ .....	7
<b>Version</b> プロパティ.....	7
<b>Copyright</b> プロパティ .....	7
<b>ProductName</b> プロパティ.....	7
メソッド一覧.....	8
<b>SendData</b> メソッド .....	8
<b>RecvData</b> メソッド.....	8
イベント一覧.....	8
<b>RecvData</b> イベント.....	8

## はじめに

### IPCATL コンポーネントとは

IPCATL コンポーネントは、ActiveX.exe ベースの軽量なプロセス間通信コンポーネントです。ASP の VBScript や Visual Basic、EXCEL VBA、WSH(Windows Scripting Host)などから使えます。

### IPCATL コンポーネントご使用上の注意

1. このソフトの著作権は作者 FukuRi ko が所有します。
2. 転載および再配布等はその旨を作者宛にメールで連絡し許可を得てから行ってください。
3. このコンポーネントの利用により引き起こされるいかなる損害に対しても作者は責任を持ちません。利用者ご自身の責任でご使用ください。

改定履歴

2004年07月 Version 1.0 公開

## 簡単な使い方

### 使用例

CreateObject メソッドで "IPCATL.Client" という名前で作成します。

```
Set obj = Server.CreateObject("IPCATL.Client") 'ASP  
Set obj = CreateObject("IPCATL.Client") 'VBA や VB  
Set obj = WScript.CreateObject("IPCATL.Client") ' WSH
```

作成したオブジェクトでメソッドの呼び出し・プロパティの取得／設定を行ないます。

変数 = obj.メソッド名(パラメータ)

obj.プロパティ = 設定値

変数 = obj.プロパティ

## プロパティ一覧

### RecvKey プロパティ

[戻り値] **String**

#### [機能]

データ受信を行うためのキーを設定／取得します。正規表現で指定します。

#### [使用例]

受信キー文字列は正規表現で指定できるので下記の例を参考に設定してください。

RecvKey プロパティの値	受信できるデータ	例
"abc"	キー文字列中に"abc"という文字列が含まれているデータ	送信キーが "abc" "abcxyz" "xyzabc" "xyzabcxyz" 等のデータを受信します。
"abc ABC"	キー文字列中に"abc"という文字列か"ABC"という文字列が含まれているデータ	送信キーが "abc" "ABC" "abcxyz" "ABCXYZ" "xyzABC" "XYZabc" 等のデータを受信します。
"^abc"	キー文字列の先頭が"abc"で始まるデータ。^は先頭の文字列を示します。	送信キーが "abc" "abcdefg" "abcDEF" 等のデータを受信します。
"abc\$"	キー文字列の末尾が"abc"で終わるデータ。\$は末尾の文字列を示します。	送信キーが "abc" "xyzabc" 等のデータを受信します。
"a?c"	?は任意の1文字を示します。	送信キーが "abc","aZc" 等のデータを受信します。
"a*c"	*は任意の1文字以上の繰り返しを示します。	送信キーが "abc","abbc","abbbbbc" 等のデータを受信します。

#### Size プロパティ

[戻り値] **Long**

[機能]

受信キューの数を設定／取得します。尚、デフォルトは **1024** です。  
設定値を変更すると受信キューにデータがある場合は削除されます。

#### Count プロパティ

[戻り値] **Long**

[機能]

受信キューに残っているデータの数を返します。(読み取り専用)

#### Version プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントのプロダクトバージョンを返します。(読み取り専用)

#### Copyright プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントの **Copyright** (著作権) 情報を返します。(読み取り専用)

#### ProductName プロパティ

[戻り値] **String**

[機能]

このコンポーネントの **ProductName** (製品名)を返します。(読み取り専用)

## メソッド一覧

### SendData メソッド

[戻り値] なし

[引数]

**String** キー文字列

**VARIANT** 送信データ

[機能]

データを送信します。

キー文字列が一致したクライアントのキューにデータがコピーされます。

### RecvData メソッド

[戻り値] **VARIANT** 取得データ

[引数] なし

[機能]

受信キューからデータを取得します。

データがない場合は **NULL** 値のデータが帰ります。

## イベント一覧

### RecvData イベント

[引数] なし

[機能]

受信キューにデータが入ると、このイベントが発生します。

データの取り出しは **RecvData** メソッドを仕様します。

## 付属サンプルプログラムについて

### 使い方

サンプルプログラム（ **Project1.exe** ）を複数（2個以上）起動し、一方のプロセスの下のテキストボックスに文字列を入力し、「送信」ボタンを押すともう一方のプロセスにメッセージが送信できます。

※ サンプルは **Visual Basic version 6.0** で作成しています。（ソース付）

